

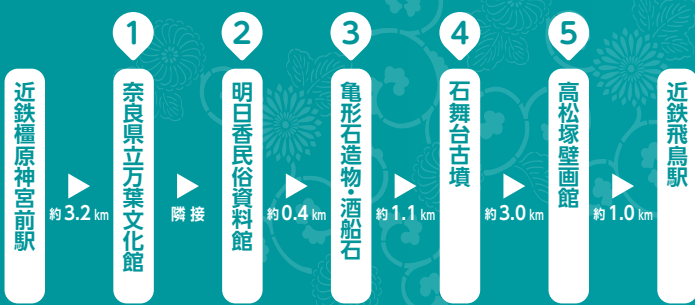
明日香・ 橿原 エリア

【 飛鳥 周辺 】

明日香は、飛鳥時代の政の舞台であり、古墳文化が築かれた場所であり、多くの歌が詠まれた“万葉のふるさと”でもあります。

明日香・橿原 モデルコース

万葉の世界を体感する万葉文化館をスタート地点として、伝説に包まれた遺跡や古墳を回るコースです。奈良時代や飛鳥時代の人々の暮らしに思いを馳せながら散策しましょう。各地点は車で移動をおすすめします。



凡 例

車の想定コース	段差
比較的通行しやすい道	階段
通行に注意が必要な道	砂利・舗装無し
車いすで通れない道	細い道
上りづらい傾斜	その他注意の必要な所
緩やかな傾斜	





ならけんりつまんようぶんかかん

1 奈良県立万葉文化館



写真:奈良県立万葉文化館

☑10時～17時半(入館は17時まで)〔休〕月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始、展示替日) ㊚無料(日本画展示室の展覧会は有料) [駐車場] 無料、身障者スペース3台 ㊚高市郡明日香村飛鳥10 ㊚0744-54-1850 各階に多目的トイレあり

現存する日本最古の歌集『万葉集』を中心に日本の古代文化を楽しみながら学べる施設。日本画をはじめとするさまざまな展覧会や、講座などのイベントを随時開催。万葉の世界を体感できる「一般展示室」、映像や人形で歌人の心情や時代背景を紹介する「万葉劇場」、日本最古の鑄造銭とされる「富本銭」等を作っていた「飛鳥池工房遺跡(復原)」、万葉図書・情報室、万葉庭園、ミュージアムショップ、カフェなど見どころ多数。

また、施設全体がユニバーサルデザインを考慮してつくられており、車いすでも利用しやすい。

多目的トイレ



・駐車場 ・B1F ・1F(2カ所)



展示棟1F

あすかみんぞくしりょうかん

2 明日香民俗資料館



写真:明日香村教育委員会

☑11時～17時(12月～3月は16時まで) (月曜休、祝休日の場合は翌日) ㊚無料 ㊚高市郡明日香村岡410 ㊚0744-54-5600(明日香村教育委員会文化財課) 駐車場は万葉文化館を利用可 1Fに多目的トイレあり 2Fへは階段のみ

施設の2Fにある資料館で、民俗資料を展示している。展示のコンセプトは、食とそれらに関する祭祀に密着し、昔の道具などを通じて、明日香の歴史的な風土や景観形成について身近に感じてもらうこと。稲渚地区の雨乞い神事である「南無天踊り」が描かれた巨大な絵馬、稲渚・栢森地区に五穀豊穰・子孫繁栄を願って飾られる「男綱・女綱」が展示の見どころ。入り口には萱葺き屋根の大和棟農家が移築されており、江戸時代の生活様式を目にすることができる。

1Fにはレストランやカフェなどが入っている。

多目的トイレ



かめがたせきぞうぶつ ・ さかふねいし

3 亀形石造物・酒船石



写真:明日香村教育委員会

酒船石

☑8時半～17時(12月～2月は9時～16時) (年末年始休) ㊚300円(子ども100円) ㊚奈良県高市郡明日香村村岡 ㊚0744-54-9200

共に謎の石造物で、斉明天皇の時代につくられたとされる。酒船石は竹林をぬって登った先にある。大きな石の平坦な上面に奇妙な溝が彫られている。昔、酒の醸造に使用されたという言い伝えから酒船石と言われるがいろいろな説がある。亀形石造物は酒船石の北西に位置し、顔を南側にに向けて設置されている。湧水施設や水槽が付属しており、政治を占うための施設、身を清めるための施設といった諸説がある。亀形石造物は車いすでも近くで見られるが、酒船石は階段のある山道。



写真:明日香村教育委員会

亀形石造物

いしづたいこふん

4 石舞台古墳



写真:明日香村教育委員会

6世紀に築造された日本最大級の横穴式石室を持つ方墳。巨石約30個を積み上げて造られた古墳で、盛土が失われ露出した天井石の上面が平らなことにちなんで、石舞台と呼ばれる。古墳最大の巨岩である天井石は、南側が約77t、北側約64tもあるという。被葬者は不明だが、付近に蘇我馬子の庭園があったことから、馬子の墓ではないかとの説が有力。古墳を中心に広がる一帯は石舞台地区と呼ばれ、周囲はなだらかな棚田地形を生かした芝生広場になっており、春は桃や桜、秋は彼岸花が咲く。

- ☑8時半～17時(無休)
- ☑300円(高校生以下100円、**園**250円、高校生以下50円)
- ※亀形石造物・高松塚壁画館との共通券700円(**園**150円)
- ☑高市郡明日香村島庄133
- ☎0744-54-9200((一財)明日香村地域振興公社)
- [駐車場]無料、身障者スペースあり
- 駐車場に多目的トイレあり

多目的トイレ



石舞台駐車場



写真:明日香村教育委員会

古墳内部

たかまつづかへきがかん

5 高松塚壁画館



高松塚古墳は直径23m、高さ8.5mの円墳で、1972年に石室内で彩色壁画(国宝)が発見された。石槨(せっかく)と呼ばれる石の部屋は古代中国の影響を受け、東壁には青龍と日像、西壁には白虎と月像、北壁には玄武、東西の両脇には人物像、天井には星宿図が描かれている。古墳内部は保存上密閉されているため、見学はできない。隣接する高松塚壁画館で、精巧な模写や石槨の模型、副葬品のレプリカが展示されている。

墳丘周囲には一部階段があるが、車いすでも近づくことができる。高松塚壁画館は1フロアのみでフラットになっており見学しやすい。

- ☑9時～17時(年末年始休)
- ☑300円(大学・高校生130円、中学・小学生70円、**園**本人・付添1名無料)※亀形石造物・石舞台古墳との共通券700円(**園**150円)
- [駐車場]国営飛鳥歴史公園館の無料駐車場を利用、身障者スペース2台
- ☑高市郡明日香村平田439
- ☎0744-54-3340
- 駐車場および古墳までの道中に多目的トイレや休憩所あり

多目的トイレ



国営飛鳥歴史公園館



写真:明日香村教育委員会

あすかそうごうあんないじょ あすかびとのやかた

明日香総合案内所 飛鳥びとの館



近鉄飛鳥駅前にある飛鳥総合案内所。高松塚古墳やキトラ古墳の四神をモチーフにした明るい館内に、飛鳥散策に必要な便利ツールの販売・飛鳥関連資料と地元農産加工品などのお土産を多数取り揃えている。館内には休憩コーナーも設けられている。土・日・祝日は観光ボランティアガイドが在籍している。手荷物預かりやレンタサイクル、超小型電動自動車「MICHIMO」のレンタルなどのサービスも提供している。

- ☑8時半～17時(年末年始休)
- ☑高市郡明日香村大字越6番地3
- ☎0744-54-3240
- スロープあり

あすかから

飛鳥寺



写真: 明日香村教育委員会

596年、蘇我馬子の発願により日本初の本格的寺院として完成した。本尊の銅造釈迦如来坐像(重要文化財)は創建時の作で日本最古の仏像(飛鳥大仏)。寺の西側に蘇我入鹿の首塚と呼ばれる五輪塔が残る。

多目的トイレ



☎9時～17時半(10～3月は17時まで)〔休〕4月7日～9日 ㊦350円(高校・中学生250円、小学生200円、園本人のみ170円、高校・中学生120円、小学生100円) ㊦高市郡明日香村飛鳥682 ㊦0744-54-2126 スロープなし、多目的トイレあり



写真: 明日香村教育委員会

たちばなでら

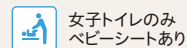
橘寺



写真: 明日香村教育委員会

聖徳太子誕生の地といわれ、太子建立の7カ寺の一つ。現在は江戸期に再建された本堂(太子殿)など、わずかな諸堂を残すのみ。室町時代の聖徳太子坐像(重要文化財)をはじめ、善悪2つの顔が刻まれた二面石、塔礎石などが残る。

多目的トイレ



☎9時～17時(無休) ㊦350円(高校・中学生300円、小学生150円、園本人・付添1名100円引き) ㊦高市郡明日香村橘532 ㊦0744-54-2026 西門にスロープあり、多目的トイレあり。本堂、観音堂は階段のみ。観音堂は外部から見学可能(2021年12月までは工事のため不可)

ならぶんかざいけんきゅうじょ あすかしりょうかん

奈良文化財研究所 飛鳥資料館



写真: 奈良文化財研究所

飛鳥の文化財を調査・研究する奈良文化財研究所の展示施設であり、古代史を総合的に概観できる。飛鳥の宮殿や水落遺跡の水時計、須弥山石等の石造物、高松塚古墳・キトラ古墳、飛鳥寺などの古代寺院に関する展示物がある。

多目的トイレ



☎9時～16時半〔休〕月(祝日の場合翌平日)、年末年始 ㊦350円(大学生200円、70歳以上・高校生および18歳未満無料、園本人・付添1人無料) ㊦高市郡明日香村奥山601 ㊦0744-54-3561 スロープ、車いす対応トイレ、身障者用駐車スペースあり

つばさから

壺阪寺



写真: @Kosa_photo

703年創建。三重塔は礼堂と共に国の重要文化財。正式名称を壺阪山南法華寺といい、長谷寺と共に古くから観音霊場として栄えた名刹である。本尊の十一面千手観音は眼病にご利益がある「目の観音さま」として知られる。大観音立像は高さ20m。

多目的トイレ



☎8時半～17時(無休) ㊦600円(園本人・付添1人半額) ㊦高市郡高取町壺阪3 ㊦0744-52-2016 参道の石段に電動リフトあり。本尊も鑑賞可能

きたらこふんへきがたいけんかん しじんのやかた

キトラ古墳壁画体験館 四神の館



国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区内にある体感型施設。実物の壁画や出土遺物の保存管理も行っている。古墳について楽しく学べるほか、別館の体験学習施設では飛鳥の歴史や自然を体験できるプログラムを提供している。

地区内最大の広場「四神の広場」ではイベントが実施されたり、ゆったりくつろいだりできる。



多目的トイレ



☎9時半～17時(12～2月は16時半まで)〔休〕年末年始 ㊦無料 ㊦高市郡明日香村大字阿部山67 ㊦0744-54-5105 館内・別館および駐車場に多目的トイレあり、第一・第二駐車場(無料)共に身障者用駐車スペースあり、休憩所完備、古墳の周囲も歩きやすく整備されている

かしはらじんぐう

檀原神宮



畝傍山の東南の麓、檀原宮で神武天皇が即位されたという「日本書紀」の記述に基づき、明治23年(1890)に創建された。京都御所の内侍所(賢所)を移築した本殿(重要文化財)の手前には幣殿、内拝殿が建つ。

多目的トイレ



・第2檀原観光トイレ(北の鳥居付近)のみ上記4機能あり。他に3カ所の車いす対応トイレあり(・崇敬会館横・深田池休憩所・遊苑駐車場)

☑日の出～日没(無休)園境内無料、宝物館300円(大学・高校・中学生200円)(平日要予約) ☑檀原市久米町934 ☑0744-22-3271 南神門、外拝殿にスロープあり



ふじわらぎゅうせき

藤原宮跡



日本で初めて建設された都城である藤原京の中心地で、平城京遷都まで持統、文武、元明の天皇三代が執政した。藤原京は、平城京・平安京をしのぐ規模だったとも考えられている。野原が広がる宮跡には大極殿跡の基壇が残る。

多目的トイレ



☑見学自由、無休 ☑無料 ☑檀原市高殿町ほか ☑0744-21-1114(檀原市世界遺産登録推進課)

ならけんりつかしはらこうがくけんぎゅうしよふぞくはくぶつかん

奈良県立檀原考古学研究所附属博物館



県内の多くの遺跡から出土した資料を通じて、日本史で重要な位置を占める奈良の歴史について学ぶための施設。日本考古学の基準資料をもとに「目で見る日本の歴史」になっています。

多目的トイレ



☑9時～17時(〔休〕月(祝日の場合は翌日)、年末年始)園400円(園本人・付添1人無料※特別展期間中は有料) ☑檀原市畝傍町50-2 ☑0744-24-1185 スロープ、多目的トイレ、映像での案内や展示物の点字案内あり



入口スロープ

れきしにいこうかしはらしはくぶつかん

歴史に憩う檀原市博物館



金銀の装飾品や、地中海沿岸から運ばれたガラス碗など貴重な遺物が出土した新沢千塚古墳群に隣接した体験・体感型の博物館。ガラスケースの少ない展示室では、遺跡出土品を間近で見られるほか、触れることもできる。

多目的トイレ



☑9時～17時(〔休〕月(祝日の場合は翌平日)、年末年始) ☑300円(園本人・付添1人半額) ☑奈良県檀原市川西町858-1 ☑0744-27-9681 スロープ、多目的トイレ、身障者用駐車スペース、筆談対応あり

いまいちよう

今井町



多くの古民家が現存する今井町の町並みは江戸時代そのままの情緒と風情を伝える。重要伝統的建造物群保存地区に指定されたレトロな町並みには、カフェやレストラン、酒屋などが軒を連ねている。地区内には約500軒の伝統的建造物があり、文化財も多数存在。

今井町の歴史を解説する資料館今井まちなみ交流センター「華寛」。

町の南東に位置する奈良県の指定文化財である。かつて今井町役場として使われていた。観光情報を多数提供する。



今井まちなみ交流センター「華寛」の多目的トイレ



・駐車場横



☑9時～17時(〔休〕年末年始) ☑無料 ☑檀原市今井町2-3-5 ☑0744-24-8719 スロープ、多目的トイレ、身障者用駐車スペースあり